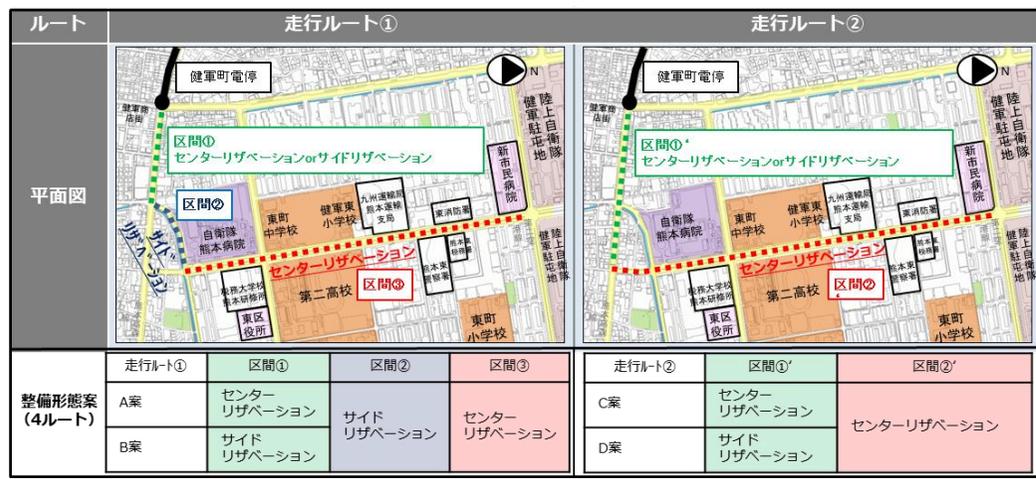


市電延伸の検討について

1. 整備形態4案比較検討結果

◎整備形態案（4案）

・過年度の調査結果により、基本設計では以下の4案について検討



◎比較検討

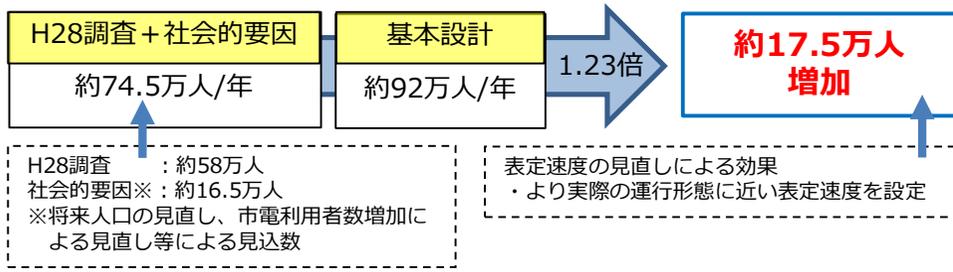
・4案について、比較検討を行った

ルート	A案	B案	C案	D案
概算事業費 (億円)	約135	約130	約135	約135
費用便益比	約1.2	約1.3	約1.2	約1.2
沿線の自動車の出入り	○一部制限	×非常に制限	◎ほとんど制限されない	△かなり制限される
自動車交通	○一部影響	△かなり影響	◎ほとんど影響を受けない	×非常に影響を受ける
更なる延伸への対応	○比較的対応	×対応が非常に困難	◎もっとも対応が容易	△対応がかなり困難

- ・沿線の自動車の出入り
沿線の土地利用に与える影響を評価（サイドリザベーションによる出入りの制限 → 迂回路の確保の可否）
- ・自動車交通
自動車交通に与える影響を評価（市電専用信号の数→多いほど影響大）
- ・更なる延伸への対応
益城方面を考慮した場合の事業性を評価

2. H28調査と基本設計の比較（C案）

◎利用者見込について



◎収支見込について（減価償却費を除く）



◎概算事業費について



◎費用便益について（計測期間50年間）



◎H28調査と基本設計の比較について

基本設計において、より精度の高い事業費の精査や効果等の検討を行った結果、利用者見込の増加やそれに伴う収支見込の改善等で、事業費の増加による影響を上回る費用便益分析結果となった

市電延伸の検討について

3. 市電延伸による主な効果

1. 市電延伸による中心市街地へのアクセス強化

- 混雑時の自動車利用時に比べ市電利用時の所要時間は**最大約21分短縮**し、加えて経費面でも**安価**である

公共交通	市電延伸	市民病院	市役所前
	市電乗車34分 運賃170円 19本/時		34分 170円
自動車	現況	市民病院	市役所 駐車場代
	約55分 費用250円 注)		55分 250円 +
	注) 7時台の混雑時の県道36号と電車通り経由のルート 費用は区間距離6.2kmのガソリン代等走行経費による		駐車場代

2. 自動車から市電への転換

- 今まで自動車で移動していた人も、市電で移動する機会が増えるため**自動車が1日約2,300台減少**する見込み

4. その他の効果

○温室効果ガス（主にCO2）の削減効果

年間CO2排出削減見込量

- 杉の木、約7.7万本の年間吸収量に相当 = 1,088トン-CO2(／年間)
※温暖化・エネルギー対策室より

3. 通勤、通学時間帯の渋滞緩和

- 朝ピーク時の健軍町交差点で**約200台**の自動車数が減少する
健軍町交差点の朝ピーク混雑時間が**約10分**ほど短縮



※条件：通勤、通学目的の自動車
が全て中心市街地に向かうと
仮定
：朝ピーク時（7時～9時）

▲健軍町電停交差点における交通量の変化（朝7時～9時）

<参考> 費用便益効果（熊本市に与える効果）

- 延伸の効果を現在の金額に換算すると、**年間約2.4億円**に相当
- 移動時間短縮効果：**年間0.6億円**・渋滞緩和や交通事故減少：**年間1.8億円**

○高齢者の健康増進

- 市電延伸を含めた公共交通網を充実することで、**高齢者の外出機会が増加し健康増進**につながる



市電延伸沿線上の各停留場へのパーク&ライド、サイクル&ライドの導入により、上記効果を更に高めていく

3) 今後について

◎今後の市電延伸の検討は、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら進めていく。